

平成18年（2006年）3月

シンフォリカルポス属

(*Symphoricarpos* Duham.)

対象植物の範囲

スイカズラ科(Caprifoliaceae)のシンフォリカルポス属 (*Symphoricarpos* Duh.) は、中国西部、アメリカ北部、中部の森林、茂み、大草原に自生し約17種がある。国内では *S. albus* S.F.Blake、(和名セッコウボク)種、*S. × doorenbosii* Krussm.種、*S. orbiculatus* Moench種等が流通している。本基準案はこのシンフォリカルポス属を対象とするが、調査種以外の種の出願があった場合は、本基準適用の可否についてあらかじめ十分な検討が必要である。

特性審査基準

(1) 特性審査基準

重要な形質	No.	形質	定義	調査方法	状態又は区分	階級	標準品種	備考
樹姿	1	樹姿	頂花開花期の樹姿	観察 図-1	直立 中間 開張	1 2 3		
	2	株の高さ	地際から最頂部までの高さ	測定 (cm)	低 中 高	3 5 7	ワインレッド	
枝の形状	3	着果枝の長さ	一次分枝基部から株の最頂部までの長さ	測定 (cm) 図-2	短 中 長	3 5 7	ワインレッド	
	4	着果枝の太さ	着果枝の中間部の太さ	測定 (mm)	細 中 太	3 5 7	ワインレッド	
	5	着果分枝数	着果枝から分枝した着果分枝数	測定 (本) 図-2	少 中 多	3 5 7	ホワイトヘッジ	
	6	着果枝の色	着果枝の中間部の色	観察 図-2	灰褐 淡褐 褐 赤褐	1 2 3 4	ワインレッド	
葉の形状	7	葉形	着果枝の葉の形	観察 図-3	披針形 長楕円形 楕円形 卵形 広楕円形 円形	1 2 3 4 5 6	ワインレッド	
	8	葉縁の形	葉縁の形	観察 図-4	全縁 浅い波状 波状	1 2 3	ワインレッド	
	9	葉先端の形	葉の先端の形	観察 図-5	鋭尖形 鋭形 鈍形	1 2 3		
	10	葉の表面の凹凸	葉の表面の凹凸の程度	観察 図-6	弱 中 強	3 5 7		
	11	葉長	葉の長さ	測定 (cm)	短 中 長	3 5 7	ワインレッド	
	12	葉幅	葉の幅	測定 (cm)	狭 中 広	3 5 7	ワインレッド	
	13	葉の色	葉の色	観察	淡緑 緑 濃緑	1 2 3		
	14	葉のアントシアニン着色の程度	葉のアントシアニン着色の程度	観察	無又は極弱 弱 強	1 2 3		
	15	葉の毛の多少	葉の裏面の毛の多少	観察	少 中 多	3 5 7		
花の形状	16	花形	花冠の形	観察 図-7	筒形 漏斗形 鐘形	1 2 3		
	17	花冠の色	花冠外面全体の色	観察	白 淡緑 赤系 赤紫系	1 2 3 4		

重要な形質	No.	形質	定義	調査方法	状態又は区分	階級	標準品種	備考
花の形状	18	花冠の二次色	花冠外面の二次的な色	観察	白 淡緑 赤系 赤紫系	1 2 3 4		
	19	花冠の高さ	花冠の高さ	測定 (mm)	低 中 高	3 5 7		
	20	花冠の幅	花冠の幅	測定 (mm)	狭 中 広	3 5 7		
	21	がくの先端の色	がくの先端の色	観察 図-8	緑 赤紫	1 2		
果実の形状	22	果穂の着生位置	果穂の着生位置	観察	頂生 頂生と腋生	1 2	ワインレッド	
	23	総果穂の長さ	総果穂の長さ（果穂が頂生の場合は除く）	測定 (cm) 図-2	短 中 長	3 5 7	ホワイトヘッジ ワインレッド	
	24	腋生部の果穂数	腋生部の果穂節数	測定 (節) 図-2	少 中 多	3 5 7	ホワイトヘッジ ワインレッド	
	25	頂部果穂の長さ	頂部果穂の長さ	測定 (cm) 図-2	短 中 長	3 5 7	ワインレッド ホワイトヘッジ	
	26	腋生部の果穂の長さ	腋生部の果穂の長さ	測定 (cm)	短 中 長	3 5 7	ホワイトヘッジ	
	27	果実の形	成熟果実の形	観察 図-9	楕円形 円形 横楕円形	1 2 3	ホワイトヘッジ ワインレッド	
	28	果実の縦径	果実の縦方向の長さ	測定 (mm)	短 中 長	3 5 7	ワインレッド ホワイトヘッジ	
	29	果実の色	果実の主な色（果穂の状態で測定）	JHSカラーチャートの色票番号による				
	30	果実の光沢の有無	果実の光沢の有無	観察 図10	無 有	1 9	ワインレッド	
	31	早晩性	供試株数の半分の果実が成熟した時の早晩	観察	早 中 晩	3 5 7	ホワイトヘッジ ワインレッド	

(2) 特性審査基準 (案) 参考図

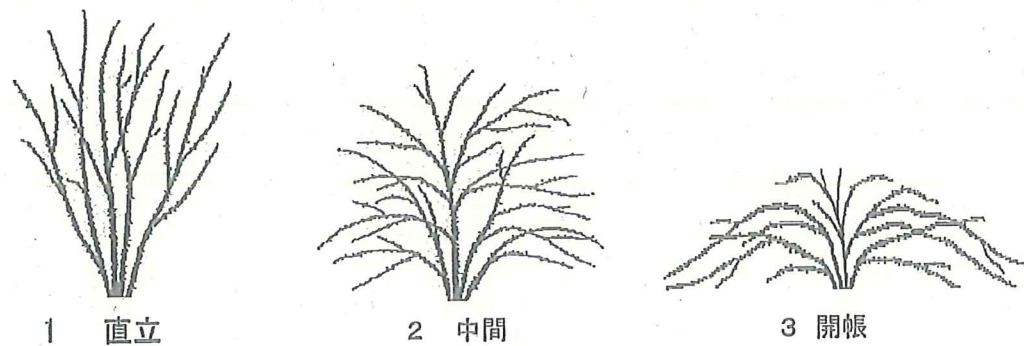


図-1 樹 姿 (形質 1)

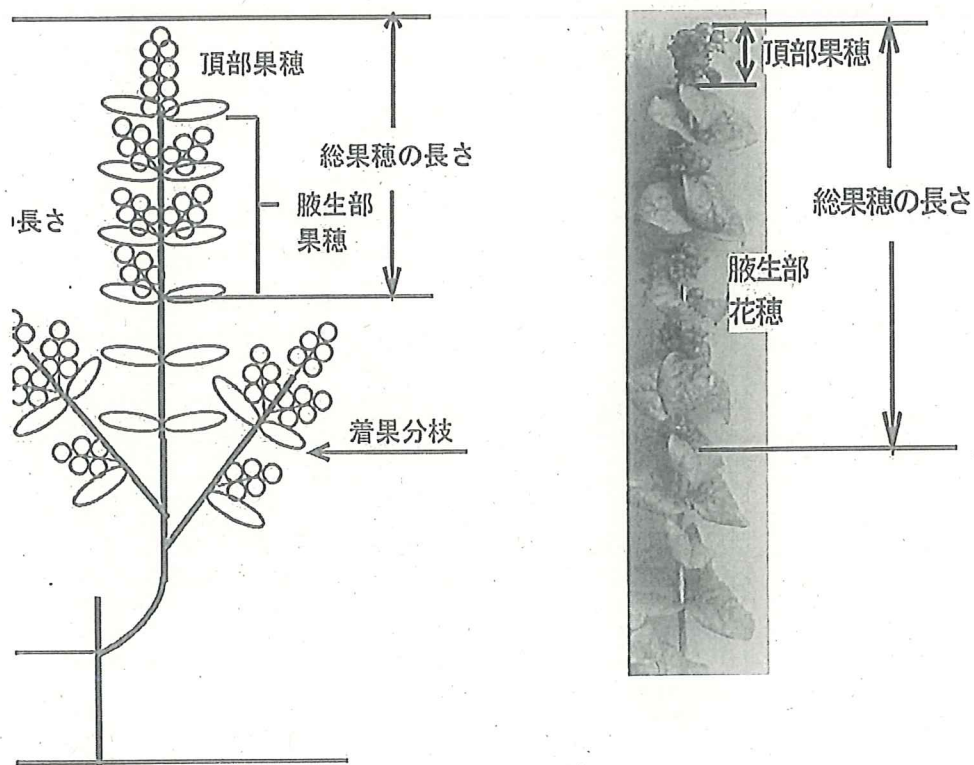


図-2 植物体 (着果枝の長さ、着果分枝数、総果穂の長さ、頂部果穂、腋生部果穂)

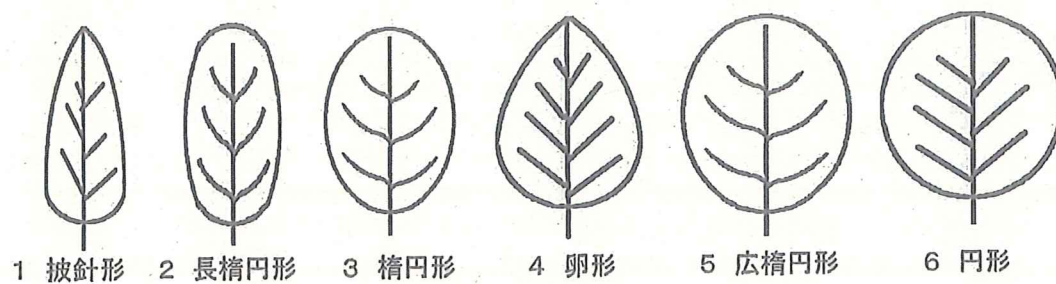


図-3 葉形 (形質 7)

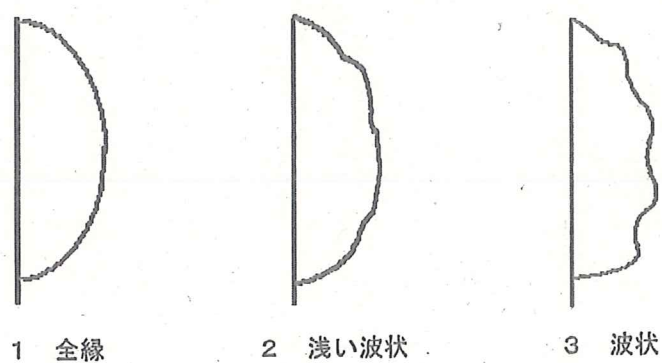


図-4 葉縁の形 (形質 8)



図-5 葉先端の形 (形質 9)



3 弱



5 中

図-6 葉の表面の凹凸 (形質 10)



図一 7 花形 (形質 16)

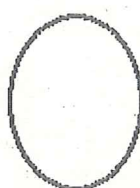


1 緑

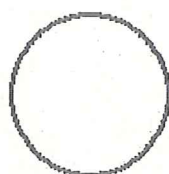


2 赤紫

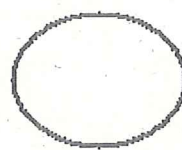
図一 8 がくの先端の色 (形質 21)



1 楕円形



2 円形



3 横楕円形

図一 9 果実の形 (形質 27)



1 無



9 有

図一 10 果実の光沢の有無 (形質 30)

特性検定のための栽培試験方法

(1) 栽培基準

作型	露地栽培
定植	11月（1条植え、株間50cm）
整枝・仕立て	高さを揃え（約10～15cm）台切りする（前年初冬か春萌芽前に実施）
施肥	N、P、K：10kg/10a当たり、堆肥2～3t/10a当たり
栽植距離	1条植え、株間50cm、畝間150cm
受粉樹	4m以内に1株配置する。（品種の異なるもの）
提出種苗	晩秋、2年生株（2月挿し）

(2) 供試個体数 10個体

(3) 調査時期 果実成熟期に行う。花の形質は開花期に行う。 調査は3年生株（2月挿し）を対象に行う